

地域共生活動

地域と共に社会を創る

地域資源回収プラットフォーム「もったいないBOX」と 地域に根差したリサイクル施設

(株)エコネコル松本支社では、地域資源の回収拠点として、無人の資源回収ステーション「もったいないBOX」を長野県中信地区に設置し運営しています。同支社では、安曇野市に資源リサイクル施設「エコネコルあづみ野プラザ」も運営しており、ステーションやプラザの利便性向上とともに、資源回収量は増加しています。地域で回収された資源物から得られた収益の一部を、こども病院への寄附等として地域に還元するサーキュラーエコノミーモデルを構築しています。

長野県立こども病院	寄附額 970,294円
中信地区環境教育ネットワーク	寄付額 283,611円
松本山雅FC(Jリーグ)YELL事業	2024年度回収量 4,019,217kg

スポーツチームとのコラボレーションによる地域貢献

当社および(株)NEWSCONは、バスケットボールBリーグで活躍中の「秋田ノーザンハピネッツ」とコラボした資源回収ステーション「もったいないBOX」を設置しています。2024年8月より秋田県潟上市に2か所目の「もったいないBOX」を新設しました。段ボール、雑誌、新聞、金属類の回収を目的としており、それらをリサイクルして得た収益の一部が秋田ノーザンハピネッツの活動資金として還元されます。



東京都のリチウムイオン電池資源化協働事業者に採択

(株)VOLTAは、東京都環境局が公募した「リチウムイオン電池 混ぜて捨てちゃダメ! プロジェクト 令和7年度リチウムイオン電池等広域的資源化モデル事業 協働事業者」に採択されました。東京都内自治体から対象物を安全に回収し、販い取り・資源化を行うことで、近年急増しているリチウムイオン電池起因の火災事故予防に貢献していきます。(詳細は39ページへ)

また、VOLTAではリチウムイオン電池に関する講演依頼をお受けします。

電池の危険性、安全な運搬や保管方法、安全なリサイクルに関する啓発活動を行っています。



福祉事業所と工場の連携

『日東化工はみんなが輝くことが出来る場所』

日東化工(株)湘南工場では、地域の3つの就労継続支援B型事業所からのご紹介で、工場敷地内の緑地除草、清掃、書類裁断などの業務をお願いしております。就労の機会を提供することで社会参加による自信を育み、就労意欲の向上へ繋げていきたいと考えています。2024年10月より実施いただいておりますが、額に汗しながら「日東化工で働くのは楽しい!」と黙々と取り組んでいる姿を見ると、有難いと感じると同時に、私たちは身の引き締まる思いがします。



イントロダクション

目次・編集方針

Our Concept

エンビプログループのあゆみ

エンビプログループの成長戦略

エンビプログループの事業

ESGの取り組み

環境

社会

ガバナンス

データセクション

地域の皆様と交流を深める

工場見学や解体体験などの未来へつながる学習機会を創出

(株)エコネコル松本支社では、地元児童の工場見学を受け入れています。座学や見学を通して学びにつなげてもらえるよう、毎回趣向を凝らしています。世界的にもリサイクル関連への関心が高まるなか、児童の皆さんのリサイクルへの興味は高く、質問など多くいただき有意義な時間となっています。また、本年は小学校の出張授業や、パソコンの解体体験にも協力しました。解体体験では同支社の従業員が講師となり児童へ作業を指導し、資源の有効活用への理解も促しています。今後も未来へつながる活動を継続していきます。また、障がい福祉サービス事業の(株)アストコでは、長野県安曇養護学校の生徒・教員の見学の受け入れを定期的に行ってています。これは、特別支援学校卒業後のための勉強として実施するもので、2025年6月期は2回開催しています。



ママフェスへスタッフとして参加

(株)エコネコル松本支社では、2025年6月28日開催の「おさんぽフェス2025(ママフェスまつもと主催)」に絵本のおさがり会スタッフとして参加しました。同支社では、日頃より窓口にて絵本を回収しており、集まった絵本は同イベントにて配布されています。この取り組みは2019年から続けています。思い出のつまつた絵本を捨てるのではなく、次の世代の赤ちゃんにおさがりして活躍の場をつくることで、地域の輪をつないでいきます。


[イントロダクション](#)
[目次・編集方針](#)
[Our Concept](#)
[エンビプログループのあゆみ](#)
[エンビプログループの成長戦略](#)
[エンビプログループの事業](#)
[ESGの取り組み](#)
[環境](#)
[社会](#)
[ガバナンス](#)
[データセクション](#)

地域にボランティアで貢献する

日頃お世話になっている地域にずっと輝いてほしいから、感謝の気持ちを込めた保全活動

当社グループでは、拠点のあるそれぞれの地域で、清掃活動を自主的に行ってています。

(株)エコネコル静岡支社のある静岡県富士宮市では、毎年8月上旬に市内最大の参加者が集う市民の踊りイベント「宮おどり」が開催されます。(株)エコネコル、(株)VOLTAおよび当社では希望する従業員を選び、毎年イベントに参加しています。イベント開始前に、参加者全員で富士山本宮浅間大社前の道路の清掃活動を行いました。



日東化工(株)湘南工場では、毎年1～2回、海や川のゴミ拾いイベントに参加しています。2024年9月7日に開催された「湘南地域連合・労福協2024環境クリーンキャンペーン」も、志願した従業員とその家族が参加しました。2025年も鎌倉で開催されるクリーンキャンペーンに参加する予定です。

(株)アストコの就労継続支援B型事業所「エコミットとよしな」では、月に1回、事業所から最寄りのJR豊科駅までの清掃活動を、利用者とともに実施しています。利用者の皆さんも自分たちが使う道がきれいになるのは達成感を感じ、良い活動になっています。



当社では、2025年3月1日に開催された「令和6年度富士山ごみ減量大作戦(山麓・後期)」に当社従業員と家族が参加しました。「富士山ごみ減量大作戦」は、静岡県、富士宮市、静岡第一テレビ24時間テレビチャリティー委員会、株式会社三井エンタープライズ、ふじさんネットワークが主催する、富士山の環境保全対策の推進ならびに環境保全意識の高揚を目的としたボランティアによる清掃活動です。年に3回開催されています。今回は約40名が3班に分かれ、静岡県富士宮市国道469号線沿いの道路わきに捨てられたごみを軽トラック3台分回収しました。当社からは従業員と家族の計6名が参加し、空き缶やペットボトル、タバコの吸い殻、プラスチックごみなどを拾い集めました。



また、当社東京事務所のある東京都中央区では、毎月10日を「まちかどクリーンデー」と定め、地域の清掃活動を推進しています。当社は清潔で快適なまちづくりに貢献するため、2025年5月より本活動への参加を開始しました。2025年5月9日に実施された「まちかどクリーンデー」には、当社従業員5名が参加しました。この日は事務所の周辺を中心に、垣根の中やビルの裏通りで、たばこの吸い殻、ライター、紙屑、靴のソール、ペットボトルなどを拾いました。



今後も地域の取り組みに積極的に参加し、環境保全につなげてまいります。

イントロダクション

目次・編集方針

Our Concept

エンビプログループのあゆみ

エンビプログループの成長戦略

エンビプログループの事業

ESGの取り組み

環境

社会

ガバナンス

データセクション